

板倉区における予約型コミュニティバス運行業務委託 運行事業者の選定に係る提案書

事業者名 提案者1

I 運行計画書（基本事項）について

■ 事業実施体制(いずれかを○)

① 自社完結型(自社で全ての業務・事業を実施する)

② 他社との連携型(具体的に:)
(※運行自体や予約受付業務を他社に委託するなど、委託する事業の一部を他社と連携する場合に記入ください)

■ 運行業務

1 運行日

○ 毎日(但し、元日を除く)

2 デマンド運行

(1) 運行時間および車両

① 設定時間帯 午前 6 時 30 分～午後 7 時 30 分

② 車両の区分

定員 10 人の車両	2 台(購入 台、リース 台、既存活用 台)
定員 人の車両	 台(購入 台、リース 台、既存活用 台)
その他の定員の車両	 台(購入 台、リース 台、既存活用 台)

(2) 停留所の位置

板倉区内63か所

(3) 運賃

① 均一制(大人1乗車:300円、高校生・中学生:200円、小学生:100円、未就学児:無料)

事業者名

提案者1

■ 受付業務 (予約受付の一連の流れは具体的な運行計画に記載のこと)

1 オペレーターの設置

(1) 受付対応方法(いずれかを○)

① 全て自社対応

② 他事業者への業務委託等(具体的に:

(2) 専用回線の設置

○ 受付専用回線設置の有無

有・無

(内容:

○ フリーダイヤル 設置すること

(3) オペレーターの配置

専属

人

兼務

人

補足事項

2 受付対応

(1) オペレーター対応時間帯

① 受付日:

② 受付時間帯(平日):

③ 受付時間帯(平日以外):

(2) 予約受付開始時期及び締め切り時間

① 受付開始可能時期:利用する期日の 日(か月)前から受付開始

② 受付締め切り:利用する車両の出発時間の 分(時間)前まで

(3) 予約取り消し対応

○ 予約取り消し:乗車する車両の出発時間の 分(時間)前まで

(4) 特別な受付の方法

■ 運転手の配置(常時)

(1) 予約型コミュニティバス事業

専属

人

兼務

人

(2) その他事業 (事業)

専属

人

兼務

人

(3) その他事業 (事業)

専属

人

兼務

人

補足事項

■ その他

事故発生時の保障(対人・対物・搭乗者傷害など)について記入ください。

板倉区における予約型コミュニティバス運行業務委託 運行事業者の選定に係る提案書

事業者名

提案者1

II 具体的な利用の流れ等について

1 利用の予約受付、運行車両の配車から降車までの一連の流れを記載ください。

(※作図、作表など工夫ください。記載項目、体裁等は必要に応じて変更ください。別紙に資料添付可)

(記載例)

【一連の流れ】

【体制・補足事項】

○利用の流れ

C1 予約開始 利用の1か月前まで

2 予約時間 毎日 7:00-19:00

3 予約期限 希望する予約時間の1時間前まで

予約取消期限 予約時間の1時間前まで

4 予約受付 業務従事者1名による受付

氏名、電話番号、乗車便、

乗降車停留所、乗車人数を聴取

乗車時間を利用者に伝える。

1 フリーダイヤルによる受付、

受付システムにより、予約履歴管理

4 本社受付業務と兼務

フリーダイヤルによる専用回線を設置予定

○経路設定の流れ(オンデマンド交通システム「コンビニクル」を使用)

5 経路設定 オンデマンド交通システム「コンビニクル」

による経路設定

6 タブレットを通じて運転手へ運行経路を指示

6 基本的に、専属車両により対応

追加配車が必要な場合は、無線により指示する。

○配車の流れ

7 予約型コミュニティバス専属の車両と運転手を配7 人員・車両配置計画

追加配車が必要な場合は、無線で連絡

デマンド便 1名 1台

ほか2名(兼務)

事業者名

提案者1

2 運行にあたり配慮する事項、提案、工夫することを記載ください。

3 運行開始前に予約のキャンセルがあった場合における対応を記載ください。

4 運行開始後にキャンセルがあった場合の対応(運行経路の変更等はどうするか)を記載ください。

5 予約時刻に所定の停留所に予約者がいない場合の対応を記載ください。

6 予約の多寡に応じた利用者を停留所で待たせない工夫がある場合は記載ください。

7 安全に係る運行管理について、研修や管理体制、運転手への指導内容について具体的に記載ください。

板倉区における予約型コミュニティバス運行業務委託
運行事業者の選定に係る提案書

事業者名

提案者1

Ⅲ 事故など緊急時における対応

○ それぞれの項目に具体的な対応方法を記入ください。

1 事故発生時における具体的な対応方法

(1) 代替車両の配車等の対応を記載ください。

(2) 利用者の速やかな輸送方法と輸送体制を記載ください。

2 負傷者等の発生に伴う具体的な対応

(1) 対応マニュアルの整備を記載ください。

(2) 従業員の訓練や研修の状況について記載ください。

3 冬季の交通事情の悪い場合における対応

(1) 運行に遅れが生じたとき、他の便の運行に支障がある場合はどのように対応するか記載ください。

(2) 運行を休止する場合、利用者に対しどのような方法で周知するか記載ください。

事業者名

提案者1

（事故等緊急時における連絡・対応の流れがわかる図等を記載ください）

※ すでに貴社において作成済みの場合は、その資料を添付ください。

板倉区における予約型コミュニティバス運行業務委託 運行事業者の選定に係る提案書

事業者名 提案者1

Ⅳ 事業実施に当たっての考え方及び提案

照会項目	回答欄
1 基本的な考え方	
①本事業は、少量輸送を効率的に運行しながらも、利用者ニーズにきめ細かく対応する事業として本格的な運行を前提に実施します。事業の実施に向け、事業者としての基本的な考え方についてお聞かせください。	
②本事業の実施期間は令和8年3月末までですが、令和7年9月末までは実証期間とし、令和7年10月以降の適切な時期に本格運行に移行することとしています。本運行への移行に際し、意見や要望、提案などと、その理由をお書きください。	
2 技術力・輸送力、需要への対応及び体制	
①一時的な需要増があった場合の対応として、利用者を待たせない、迷惑をかけないためにどのように対応しますか。 (例:予約が集中し、車両1台で運行することができない場合、予約に基づき運行していたところ、予約者の連れがいて乗車定員を上回るようになってしまった場合、などへの対応。)	
②冬季の交通事情の悪い時、人員や車両が限られている中、どのような運行体制で臨むことを考えていますか。 (例:積雪により予定の時間に到着せず、折り返しの出発時間に間に合わないおそれが生じた場合、などへの対応。)	
③デマンド運行は予約に基づいて運行するため、予約によって経路が変わったり、待ち時間が生じる場合もあると考えられます。利便性確保の観点から、待ち時間を最小限にするための工夫や、毎日変わる運行に対応する工夫をお聞かせください。	

事業者名	提案者1
------	------

照会項目	回答欄
3 利便性向上への取組	
①高齢者等が乗りやすい、使いやすい輸送サービスをするためにどのような工夫、提案がありましたら具体的にお書きください。	
②予約型コミュニティバスは利用するまでのプロセスが多いことから、利用者に予約方法等を理解してもらう必要があります。利用者にとって分かりやすくするためにどのような提案・工夫が考えられますか。	
③将来にわたって継続的に運行するためには、今以上に利用者数を増やす必要があることから、地域に根差す交通や利用促進につながるような具体的な提案をお聞かせください。 (利用者の掘り起こしや地域との連携、意識の醸成など、様々な視点からご検討ください。)	
4 その他(事業者からの提案・工夫) * 追加の経費負担を要するものは除く	
①予約に応じた運行により効率的な運行(最良の経路と経費)を目指していますが、1便あたりの乗合率を高めることも効率的な運行となります。乗合率を高める工夫があればお聞かせください。	
②予約に応じた運行を行うことで、燃料費等の節減を目指していますが、この他に運行に要する経費を抑える工夫があればお聞かせください。	
③予約型コミュニティバス試験運行全体に関して、地域住民とともに運行内容を決定しましたが、その他提案や工夫(改善)する点があればお書きください。	

板倉区における予約型コミュニティバス運行業務委託
運行事業者の選定に係る提案書

事業者名

提案者1

V 会社概要について

(必要に応じて会社概要がわかる資料(例、定款や会社概要説明資料)を添付ください。)

■ 会社概要や事業概要について

1 設立年月日

2 会社が実施している主な事業

①

②

③

④

○

3 所在地及び代表者

(1) 本社所在地及び代表者

① 本社所在地

② 代表者職氏名

(2) 支社、支店及び営業所等(名称及び所在地)

①

②

③

④

⑤

4 会社の体制について 組織図を添付ください

5 事業の状況について 過去3年分の会計年度の貸借対照表及び損益計算書を添付してください。

6 法令等で許認可を受けている事業

	法令等で定める事業の区分	法令等の根拠条項
①		
②		
③		
④		
⑤		

(※ 許認可を受けている場合は、そのことがわかる資料の写しを添付してください。)

7 役員及び社員の状況について

役員			社員		
① 代表取締役		人	① 正規社員		人
② 取締役		人	② 非正規社員		人
③ その他役員		人	③ 計		人

事業者名 提案者1

■ 市との取引関係(いずれかを○)について

有 ・ 無

* 委託や補助等、市から補助金等を受けて実施している事業

・		事業:事業費		千円(うち市負担額:		千円)
・		事業:事業費		千円(うち市負担額:		千円)
・		事業:事業費		千円(うち市負担額:		千円)
・		事業:事業費		千円(うち市負担額:		千円)

■ 事業用の現有車両及び免許証保有者等の状況について

法令等に基づく車両の区分	現有保有台数	法令等に基づく免許証の区分	現行の保有者数
① 特定大型車両	台	① 大型自動車二種免許証	人
② 中型車両	台	② 普通自動車二種免許証	人
③ 小型車両	台	③	人
④ 福祉軽車両	台	④	人
⑤	台	⑤	人

【今後の増減・取得等の見込み・計画】

車両の増減等の計画	
免許の取得等の計画	

■ 管理監督官庁からの指導履歴と内容について

■ その他特記事項